

令和7年11月19日

医学科学生 各位

学務課

令和8年度の基礎配属及び自由科目における海外留学について

医学科3年次「基礎配属」および自由科目「海外研修Ⅰ・Ⅱ」において、下記のとおり海外留学による単位認定が可能です。このたび、留学希望調査を行いますので、海外留学を希望する学生は、下記を参考に対応をお願いいたします。

また、基礎研究留学について、選択肢となる留学先を別紙のとおり情報提供いたします。その他の分野で留学をご希望の場合は、国際化推進センターまでお問い合わせください。

1. 基礎配属における基礎研究留学

対 象：現在の医学科2年次（令和8年度医学科3年次が対象）

時 期：基礎配属実施期間 令和8年11月9日（月）～12月21日（月）

※IFMSAでの留学の場合、令和8年11月の1か月間

※土日祝日を除いて30日間未満の留学の場合は、不足分は本学で指導を受ける必要がある。

要 件：留学希望分野に近い講座の主任教員の承認を得ること。

資 格：TOEIC(L&R)680点もしくは同等以上の語学力を有すること。

検定試験の認定証書、または合格証書に記載の試験日が、応募締切日から過去2年以内のものを有効とする。

※語学力基準については、大学によってはTOEIC(L&R)680点以上や英語以外の語学力が求められる場合がある。

備 考：成績評価については、留学前に成果目標を設定、留学後に学生本人のレポート及び留学先の報告書を提出し、担当教員が面談を行う。

学内試験の追再試験が留学期間に重なる場合は、留学予定の変更を依頼する場合がある。

手続き：別紙の推薦留学先を参照し、留学の意向を国際化推進センターへ令和7年12月24日（水）までにメール送信する。別添「海外留学による基礎配属申請書」を記入し、添付書類と併せて留学希望分野に近い講座の主任教員の承認を得る。承認された書類は、令和8年2月27日（金）までに国際化推進センターへ提出する。

2. 自由科目「海外研修Ⅰ及びⅡ」における海外留学の場合

対 象：医学科1年次～6年次

時 期：必修科目と重ならない時期

単 位：留学期間に応じて、1 単位～3 単位

要 件：国際化推進センター長の承認を得ること。

上記 1 以外の基礎研究留学、語学留学、海外ボランティア等（臨床実習 II (選択臨床実習) 期間での臨床実習は除く）が対象となる。

※単位認定として認められるかは、国際化推進センターへの相談の結果で判断される。

手続き：留学の意向を国際化推進センターへ留学開始の 3 か月前までにメール送信して、承認を得ること。

3. 費用

自己負担

「基礎配属における研究留学」は支援金として 6 万円を支給する。

ただし、派遣先機関からの奨学金等を受給される場合は、本学からの奨学金を支給しない場合がある。

自由科目「海外研修Ⅰ及びⅡ」は大学が募集する「ハワイ大学語学研修」及び「ハワイ大学サマーワークショップ」以外は支援金（金額は別途通知）を支給しない。

4. 保険等

留学中は、緊急連絡先として海外でも利用できる携帯電話等を所持すること。

現地での研究・実習中の事故等に備えた学研災保険及び往復の旅行中の事故等に備えた個人海外旅行保険の他、危機管理サービス OSSMA への加入を必須とする。

【問合せ先】

- ・海外留学に関すること 国際化推進センター HUSM_IC@hama-med.ac.jp
- ・基礎配属に関すること 学務課教務係 kyoumu@hama-med.ac.jp